

新しい風

No.133

2025.9.15

Take Free

起業家・地域のプレイヤーの支援&交流拠点
「赤羽イノベーションサイト」誕生！



起業家・地域のプレイヤーの支援&交流

「赤羽イノベーションサイト」誕生！

交流会に密着取材しました！



起業家や地域プレイヤーの育成・交流・発信拠点「赤羽イノベーションサイト」がグランドオープン！

北区での起業・創業を目指す方や、新たなマーケットとして北区での事業展開を検討する方向けに、各種イベントや支援プログラムを提供します。また、イベントスペースの貸出や、イベント時以外のコワーキング利用も可能な、地域産業のコミュニティ拠点です。

6月13日（金）には、ゲストを招いた「利用登録者交流会」が開催され、同じ空間を共有する利用者同士の交流の場として、多くの区内起業家や地域プレイヤーが参加しました。

Comment

商店街の専務理事として地域イベントの企画運営に携わる中、北区とのつながりを深める物産展などを手がけてきました。今回はゲストとして交流会に参加しましたが、多様な業種の方々と交流できる貴重な機会となり、大きな刺激を受けました。地域密着型のイノベーション拠点として、誰でも気軽に使い、リアルな対話が生まれる場は非常に価値があると感じています。特に小さなコミュニティにいる自分にとって、こうした異業種交流の場は新たな発見につながります。もっと多くの人にこの施設の存在を知ってもらい、気軽に足を運んでほしいですね。飛び込みでも歓迎される雰囲気があり、まずは訪れてみるのが第一歩だと思います。

交流会ゲスト

マルノ靴店



赤羽生まれの赤羽育ち。
現在、商店街で専務理事、商店街連
合会で女性部長を務める。

事業承継コラム

国の事業承継相談窓口を活用した事例 ～他社への引継ぎ～

50年近く自動車整備業を営むある企業さんでは、後継者が親族にも、従業員にもおらず困っていました。そんな時に、事業承継・引継ぎ支援センターの「事業承継問題についてご相談ください」という新聞広告を見つけました。



最初は、民間企業なのか、公的機関なのか気になったのですが、電話をしたところ、電話口の担当者から「国の機関ですので、安心して相談してください」と言われ、相談することに決めたそうです。その後、事業承継・引継ぎ支援センターの支援を受けて引継ぐ企業

が見つかり、前社長が一番気がかりであった従業員の雇用や、長く続いてきた社名は引継がれることになりました。1本の電話が同社の将来を大きく変えた事例といえるかもしれません。

東京都事業承継・引継ぎ支援センターでは、第三者への引継ぎも、親族内への承継も、中小企業の事業承継に関するあらゆるご相談に対応します。お気軽にご相談ください。

出展：(独) 中小企業基盤整備機構 関東本部

【事業承継のご相談はこちらから】

東京都事業承継・引継ぎ支援センター

電話番号：03-3283-7555



参加者Comment

赤羽でパーソナルジムを運営しており、人とのつながりを広げたいと思っていたところこの施設の交流会を知り、参加を決めました。実際に参加してみると、さまざまな業種の方とリアルに対話できる貴重な機会となり、大きな刺激を受けました。赤羽という地域は高齢者も多く、健康づくりのニーズが高いと感じています。今後は、同年代同士で支え合うフィットネスの仕組みを通じて、地域に貢献できる新たなビジネスも展開していきたいです。この施設は、そうした仲間やアイデアに出会える場として非常に魅力的ですね。



Comment

赤羽イノベーションサイト コミュニティマネージャー

木頃 正也さん



同施設を運営する、NPO法人コミュニティビジネスサポートセンターのプロジェクトマネージャーを務める。

赤羽イノベーションサイトは、駅近の非常に利便性の高い立地にあり、多様な人々が自然と集まる場として注目されています。これまで見えにくかった地域のさまざまなコミュニティが、この場所を通じて可視化され、新たなつながりが生まれています。北区が力を入れている創業支援の拠点としても機能しており、地域に愛着を持つローカルプレイヤーたちが集い、交流し、学ぶことで、新しいコミュニティが次々と育まれています。

北区で新しい事業を始めたい方、地域に貢献したいと考えている方にとって、ここは一步を踏み出すための開かれた場所です。スタッフが常駐しており、飛び込みでの相談も歓迎です。簡単な利用登録をすれば、イベント等で貸し出していない時間帯にはコワーキングスペースとして自由に活用もできます。北区民でなくても、「北区で何かを始めたい」という思いがあれば、どなたでもご利用いただけます。ぜひ気軽に足を運んでみてください。

Comment

契約書の作成・チェックを専門とする行政書士として活動しており、今回はゲストとして参加しました。普段、士業同士の交流はあるものの、地域で起業している方々と直接つながる機会は少なく、北区に貢献したいという思いから参加させていただきました。赤羽イノベーションサイトのような地域密着型の拠点はとても貴重で、もっと多くの人に知ってもらいたいと思っています。北区民に限らず、他地域や海外の方ともつながれるような、ボーダーフリーな場として発展してほしいですね。気軽に立ち寄れる場所なので、まずは雰囲気を感じに来てみるのがおすすめです。

交流会ゲスト

行政書士

こうたか いずみ
神鷹 泉さん



行政書士こうたか事務所代表。契約書作成支援を含む法的なサポートサービスを提供している。

お仕事探しの専門の窓口

「赤羽しごとコーナー」をご利用ください！

「赤羽しごとコーナー」は、ハローワーク王子の出先機関。ハローワーク王子と北区で連携して運営をしています。赤羽しごとコーナーでは、ハローワークの職業相談窓口と同様のサービスが受けられ、以下の相談など仕事を探している皆さまの就職活動をサポートします。

ハローワーク業務

専門のスタッフによるお仕事探しに関するご相談／事務所への求人内容の確認、応募連絡、紹介状の発行／ハローワークで受理した全国の求人情報を検索できます。

北区就労支援アドバイザー

毎週火曜日と金曜日に専門の相談員による応募書類の書き方、職業適性診断、面接対応方法などの相談ができます。

※予約制一人50分5回まで



○赤羽しごとコーナー

〒115-0045北区赤羽1-1-38 赤羽区民事務所内

開庁時間：平日午前9時～午後5時

連絡先：職業相談などハローワーク業務に関すること03-3908-0161

応募書類の書き方など 北区就労支援アドバイザーに関する相談予約など03-5390-1234（北区産業振興課産業振興係）



米ぬか油を使用した印刷インキ「ライスインキ」を開発・サンエー印刷



▲ 管理本部 経理部部長兼 経営企画室長
中島 徹さん



▲ 新しいタイプの環境配慮型インキとして、米ぬか油を使用した「ライスインキ」



▲ ライスインキのイメージキャラクター「ぬかびー」

——北区のSDGs認証を受けた感想を教えてください

弊社は地域貢献を大切にしており、北区に本社を構える企業として、地域の中で何かできることはないかと考え、今回の認証を受けました。印刷業は廃液などの産業廃棄物が避けられない業種ですが、20年以上前からISO9001や14001を取得し、環境に配慮した印刷を心がけて参りました。2008年からは米ぬかを原料とした「ライスインキ」を考案・使用しています。そのような取り組みを評価いただけたことは非常に光栄です。

——社員の皆さんへの影響はありましたか？

認証取得後、社内では働く環境の美化に対する意識が高まりました。例えば、コピー用紙の包装紙や段ボール、お菓子の箱などをそのまま捨てるのではなく、リサイクルボックスに分別して捨てる習慣が浸透してきています。

——今後の展望・目標について

今後も、ライスインキの普及に力を入れていきたいと考えています。米ぬかは国内で調達できるため、海外からの輸入に頼らず、持続可能な資源としてSDGsに貢献できると考えています。北区をはじめ、より多くの企業にこの取り組みを知っていただけるよう努めていきたいです。

——SDGsに取り組む意義とメッセージ

SDGsは一見すると大きな目標に感じられますが、実は日常の中の小さな行動から始められるものです。例えばゴミの分別など、身近なことがSDGsの17の目標のどれかに必ずつながっています。SDGsにこだわりすぎず、自分たちの生活環境を「借り物」として大切に、気負わずにできることから取り組むことが大切だと思います。誰もが何かしらSDGsにつながる行動をしているはずですから、それを意識して広げていけば、自然とSDGsの実現につながるはずだと思っています。

「3D レーザースキャナー計測」で建築物からの図面化を実現・大浦工測



▲ 代表取締役 大浦 章さん

——これまで特に印象的だったプロジェクトは

現在進行中のベトナムでのプロジェクトが印象深いです。JICAのSDGs支援事業に採択され、ホーチミン市内に点在するフレンチコロニアル様式の歴史的建築物を3D計測・データ化する取り組みです。これらの建物は文化的価値が高い一方で、火災などの災害で失われるリスクもあります。首里城やノートルダム寺院のような例もあり、現存する姿を記録することの重要性を強く感じています。このプロジェクトは収益目的ではなく、社会的意義のある活動として、非常にやりがいを感じています。

——今後の展望・目標について

当社は「まちづくり」に貢献する企業として、将来的には開発途上国での雇用創出にも取り組みたいと考えています。日本は人口減少が進む一方、海外では人口が増加し、賃金も上昇していけば、いずれ日本と同じような状況になるかもしれません。だからこそ、今のうちから海外での活動を始める意義があると感じています。ベトナムとのご縁から始まったプロジェクトも5年が経ち、ようやく成果が見え始めています。現地では中国や韓国の企業との競争も激しくなっていますが、日本企業としての誇りを持ち、少しでも国益に貢献できればと思っています。

——3D計測による建築支援

私たち大浦工測は、3Dレーザースキャナーを使って既存建物を計測し、図面化する技術を得意としています。新築時は設計図をもとに施工しますが、古い建物では図面が残っていなかったり、増改築によって形が変わっていたりすることが多く、改修が困難です。特に寺院や工場などは図面がないと手を加えるのが難しい。そこで、現存する建物を丸ごとスキャンし、3Dデータとして図面化することで、次の工事や管理に役立てる「現物から図面へ」という逆のアプローチを提供しています。



▲ ウェアラブル型計測デバイスを身につけ歩きながら3Dスキャン。短時間で広範囲の空間情報を取得できる